

2007年12月15日

※フンパーディング「ハンゼルとグレーテル」

ハンゼル フレデリカ・フォン・シュターテ
 グレーテル イレーナ・コトルバス
 眠りの精 キリ・テ、カナウ
 指揮 ジョン・フリックハド ケルン、ギルツェニツヒ
 管弦楽団

第1幕 家で 「お兄ちゃん、私と一緒に来て踊りましょ。」
 第2幕 森の中
 「あんまでトントントンと歩いて(ハンゼルとグレーテル)
 「私は小さな眠りの精だよ。シニア！」(眠りの精)
 「夜に歩いて私が眠りにつくよ(ハンゼルとグレーテル)」

※アクトウン「キャロルの祭典」"A Ceremony of Carols"

The Choir of Christ Church Cathedral, Oxford

指揮 フランシス グライアー

- 第1曲 「行列聖歌」 キリストの生誕を告げるグレゴリア聖歌
- 第2曲 「喜び迎えん」 きた水天の王、われら喜び迎えん。
- 第3曲 「かくもうるわしきぼらは」
イエスが身につけたぼらほどあんばに美しい
ぼらではない。アレルヤ。
- 第4曲 a 「あの幼児(おじなご)が」
あの幼児が泣きはじめると、み母は子守歌で慰め
- 第4曲 b 「子守歌」 おお我が愛する心、美しく幼きイエス。
- 第5曲 「四月の露のごとくに」 聖母マリアをたたえる曲。
「かわれなきおとめは、王の中なる王のみ母となった。

省略

- 第6曲 「この嬰兒(みどりこ)」、第7曲 「間奏曲」
- 第8曲 「風凍る冬の夜に」
- 第9曲 「春のキャロル」 冬は去り、楽しい春がやって来た。
- 第10曲 「恵みぶかき神よ」
神の摂理に感謝する喜ばしい気持をうたう曲。
- 第11曲 退去の行列
儀式(セレニー)は終わった。
第1曲と同じグレゴリア聖歌。